



一生懸命 凧づくりに取り組む親子達

# 親子で仲良く凧づくり

## — 親子凧づくり教室 —

毎号とじこんでください。きつとお役に立ちます。

市教育委員会、市連合PTA共催の「第十一回親子凧づくり教室」が一月十、十一の両日、市民文化会館で開かれ、約百人の参加者が凧づくりに挑戦しました。

この教室は、親子で仲良く凧づくり、それを揚げることによって伝統的な遊びの喜びと、手づくりの物を使って遊ぶ楽しさを体験させ、子ども達の健全育成を図ることを目的に五十四年から開いているものです。講師は、第一回目からの尾崎四樓弘前中央高校教諭があたり、あらかじめかいた下絵のコピーが配布され、参加者は本格的な「常盤御前」に取り組みました。

初日の十日は、下絵かきから色塗りまで、翌十一日は骨組みの後、絵を張り付けて完成させました。参加した人達は、自分で作った凧が大空に舞うのを思い浮かべながら真剣に取り組んでいました。

### 市民憲章 (昭和59年10月1日制定)

わたくしたちの先人は、不撓不屈の五所川原魂をもってあらゆる困難を克服し新田を切り開き、今日の活力に満ちた五所川原市を築き上げました。

わたくしたちは、この伝統を継承し、広い視野に立つて西北津軽の人々と協調し、郷土の限らない発展を願って、ここに市民憲章を定めます。

- ◎心身ともに健康で、明るい家庭をつくります。
- ◎自然を大切にし、力を合わせて花と緑の美しいまちをつくります。
- ◎平和を愛し、きまりを守り、住みよいまちをつくります。
- ◎文化を尊び、生涯学習をもとに心豊かな人をつくります。
- ◎未来に夢を持ち、創意と実践により栄えゆく郷土をつくります。

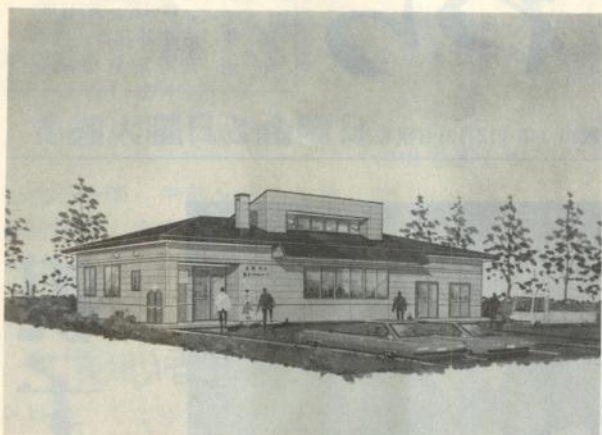
平成元年

No.680

2-1



完 成 予 想 図



長橋地区農産物加工センター  
建築工事に着工

市では、市内で六番目の加工センターである長橋地区農産物加工センターの建築工事に着工しました。

同センターは、地区内で生産されるりんご、いちご、大豆等を原材料に、りんごジュース、いちごジャム、味噌などの生産を行い、農家所得の向上、就労機会の

確保による出稼ぎの解消を図り、共同作業を通じて地域のコミュニティ活動を進めることを目的として建築されるものです。同センターは、木造平家

建てで建築面積は百七十八・八七平方メートル、総事業費は約四千五百万円で、三月末完成を見込んでいます。

また、センターの加工施設として、ジュース、ジャム、味噌などが簡単に加工処理できる油圧プレス、蒸気三重釜、真空ミキサー、糎ボックス、冷蔵庫、冷凍庫など各種加工及び貯蔵機械が設置されることになっています。

同センターの管理運営は長橋地区住民協議会(松野憲一会長)が主体となつて行うことになっており、同協議会では、手始めに自給自足を目指し、自家穀類、りんご、いちごなどでジュース、ジャム、味噌づくりに取り組むことにしていますが、将来は地場産業の拠点として特産物の創出から販売まで手掛ける計画で、関係者から大きな期待が寄せられています。



青森駅ホームで森田市長(右)らの出迎えをうける木村京子さん(左)。

中国残留日本人孤児  
はじめての里帰り  
飯詰出身の木村さん

中国残留日本人孤児の木村京子さん(46)は中国名「欒建軍」は一月二十一日、

長男の鞠寧さん(19)とともに五所川原市に初めて里帰りをしました。

京子さんは、昨年二月の調査で木村孝さん(市内飯詰)の妹であることが確認

されましたが、滞在期間が短く、里帰りができなかったものです。

この日は、成田空港まで出迎えた孝さんらと青森駅に到着。駅ホームでは、森田市長のほか昨年六月に一家で永住帰国した実姉の和子さん(47)夫婦らが出迎

え、感激の対面を果たし、抱き合つて再会を喜び合っていました。

京子さんらはその後、出迎えた人達とともに五所川原入り。

一行は墓参りの後、孝さん宅で、両親の仏壇に一時帰国の報告をしました。

森田市長は「長い間ご苦労さまでした。故郷での生活を楽しく過ごしてください」とねぎらいのことばを述べると、京子さんは「ここにきて、初めて自分は日本人だと実感が出て来ました。故郷の姿をもっとよく見て、親類の人達とも団らんし、この機会に日本語を勉強したい」と応えていました。

京子さんは、兄の家に数日間滞在した後、市内若葉の市営住宅で長男とともに六カ月間生活し、故郷の観光と親せきの人達と親交を深めることにしています。

京子さんは、兄の家に数日間滞在した後、市内若葉の市営住宅で長男とともに六カ月間生活し、故郷の観光と親せきの人達と親交を深めることにしています。



# よりよい地域社会を目指して —住民協議会連絡会結成—

コミュニティセンター栄  
で一月十八日「五所川原市  
住民協議会連絡会結成総会  
」が開かれ、関係者など約  
三十人が出席して発足しま  
した。

同会は、市内の住民協議  
会間の連絡を密にし、各種  
の調査活動とコミュニティ  
施設の管理運営についての  
情報交換などを行い、各住  
民協議会の円滑な運営を図  
り、よりよい地域社会の形  
成を目指すことを目的に結  
成されたものです。

結成総会では、発起人を  
代表して木村勝四郎栄地区  
会長が「各地区のコミュニ  
ティ活動の高揚を図り、よ  
りよい地域社会づくりいま  
い進んでいきたい」とあい  
さつを述べました。



コミュニティセンター栄で開かれた結成総会

また、来賓として出席し  
た市長代理の山田収入役は  
「地方自治の究極の目標は  
住民自治です。各地域の様  
々な悩み、問題を議論しな  
がら、よりよい地域社会を  
目指し、うるおいと活力の  
あるまちづくりにご協力く  
ださい」とあいさつを述べ  
ました。

同会の役員は次のとおり  
です。  
(敬称略)

- ◎会長 木村勝四郎(栄地  
区)
- ◎副会長 中谷亮一(飯詰  
地区、松野憲一(長橋地  
区)
- ◎理事 高橋慶蔵(敷島地  
区、高橋永治(松島地区)、  
寺田清(鎌谷地区)、笠井  
強(中川地区、開米佐太  
郎(三好地区)、山口衛一  
(毘沙門・長富地区)、三  
浦行一(小曲地区)、福土  
長太郎(梅沢地区)、阿部  
育也(七和地区)

# 国保健康づくり講演会開く —講師にさとう宗幸氏—

市の国民健康保険の業務  
を担当している保険年金課  
では一月九日、市民の健康  
づくりの一環として県国民

健康保険団体連合会と共催  
で「国保健康づくり講演会  
」を市働く婦人の家で開催  
し、市内各地区の保健協力  
員など約百五十人が参加し  
ました。

講師には、テレビ「仙八  
先生」伊達政宗などでお  
なじみの宮城県出身の歌手

さとう宗幸さんを迎え、「私  
の健康づくり」と題し講演  
しました。

その中で同氏は、幼いこ  
ろ重い病気にかかり生死を  
さまよった体験談をまじえ、  
健康診断の重要性を語りか  
けました。

また、「歌手は軽い病気に  
かかったからといってそう  
簡単に仕事を休むわけには  
いかない。それだけに、休  
養、睡眠の大切さ、日ごろの

## 国保健康づくり



講演するさとう宗幸さん

健康の尊さを考えている」  
と、健康への感謝の気持ち  
を約一時間にわたり講演し  
参加した人達は熱心に聴き  
入っていました。

国民健康保険では、今後  
も健康づくり事業を開いて  
いくことにしています。

また、毎年行っている胃  
腸病、婦人病検診について  
も引き続き実施しますので  
積極的に受診し、疾病の早  
期発見、早期治療に心がけ  
ましょう。

### 健全な国保は 納付から

国保税は、皆さんが安心  
して治療をうけられるため  
の大切な財源です。

滞納すると、医療費の支  
払いに重大な支障をきたし  
ます。

納期内に国保税を納める  
ことは、皆さんの健康なく  
らしのための第一歩です。  
納め忘れ、まだ納めてい  
ない国保税は早めに納付し  
ましょう。



# 福祉基金にと20万円

五所川原中央ロータリー  
クラブ(鶴谷光夫会長)で

は一月十九日、社会福祉協  
議会の福祉基金に二十万円

を寄付しまし  
た。



森野市長(右から2人目)に手渡す鶴谷会長(左)と小野幹事(左から2人目)、右は平山市社会福祉協議会長。

これは、同  
クラブの社会  
奉仕事業の一  
環として行わ  
れたものです。

この日は、  
鶴谷会長と小  
野順蔵同クラ  
ブ幹事が市役  
所を訪れ、平  
山誠敬市社会福祉協議会長  
立ち会いのもと、森野市長  
に手渡しました。

# 社会福祉にと4万円

五所川原  
歌の親和会

歌謡曲を愛する人達でつ  
くっている歌の親和会(成  
田俊一会長)では一月九日

社会福祉に役立ててくださ  
いと四万円を寄付しました。

これは、同会が一月三日  
に市内で開い  
たチャリティ  
新年歌謡パ  
ーティの益金  
を寄付したも  
の寄付はこれ  
で七回目とな  
ります。



(右)市長(右から2人目)に手渡す成田会長(左)と小野幹事(左から2人目)、右は平山市社会福祉協議会長。

この日、成  
田市長(右から2人目)に手渡す成田会長(左)と小野幹事(左から2人目)、右は平山市社会福祉協議会長。

市では、これを市社会福  
祉協議会の福祉基金に預託  
しました。

# 成人病予防週間(二月一日〜七日) がん・心臓病・脳卒中を予防しよう

成人病による死亡者は、  
昭和六十年以来、がん、心  
臓病、脳卒中の順となつて  
います。これらの成人病は、  
日常の生活習慣と深い関係  
があります。不規則な生活  
やたばこ、アルコール、塩  
分の取り過ぎなどが、成人  
病を発生させる共通点とい  
うわけです。

生活習慣を  
見直し  
定期検診を  
受けよう

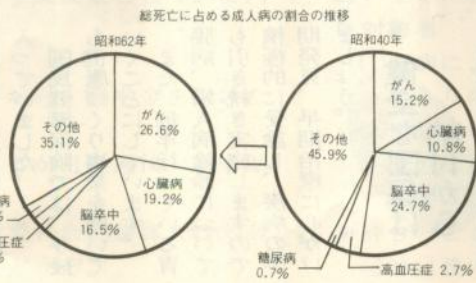
成人病を予防するには、  
まず生活習慣を見直すこと  
が大切です。具体的には栄  
養、運動、休養などの見直  
しです。もしわからないこ  
とがあれば何に気をつけれ  
ばよいかを、保健所・医療  
機関などに相談しましょう。  
これを成人病の「一次予防」  
といい、火災予防にたとえ  
れば「火の用心」にあたり  
ます。

それでも成人病にかかっ  
てしまうことがあります。

そのときに症状が進行して  
いて、手遅れになってしま  
つては大変です。定期的な  
検診を受け、健康の確認を  
するとともに疑わしい症状  
が続くときは、専門医の診  
察を受けることが大切です。  
これを「二次予防」といい、  
火事でいえば「初期消火」  
にあたります。

健康は  
高齢化社会の  
大切な財産

成人病は「一次予防」と  
「二次予防」の両輪によつ  
て防ぐ必要があります。ど  
ちらが欠けてもいけません。  
高齢化社会に移行してい



る現在、健康であるとい  
うことは大きな財産といえ  
ます。そのためには、日ごろ  
のチェックと年一回の定期  
検診を忘れずに心がけるよ  
うにしましょう。



# 交通災害共済 年額350円 2月1日から受付しています 家族そろって加入しましょう

現在加入されている人は、3月31日で共済期間が満期になりますので、早めに市民課(交通防犯対策室)または各支所へ申し込みください。

特に、お年寄りや幼児の交通事故が増加していますので、まだ加入されていない人もご家族そろって加入されるようおすすめします。

▷加入できる人—五所川原市に住所をもっている人

▷共済会費・期間—年額350円(共済期間の途中で加入する場合も同額です。)

共済期間は、毎年4月1日から始まり翌年の3月31日で終わります。(途中で加入される人は、加入の日から3月31日までとなります)

▷その他—小・中学校の児童生徒については、各学校を通じて受け付けています。保育所、職場、町内会、各種グループなど20人以上が加入される場合は、団体の取り扱いをします。

## ○共済見舞金の額

災害の程度		等級	金額
死亡した場合		1	800,000円
実治療日数 180日以上で	入院180日以上を含む	2	150,000円
	入院90日以上180日未満を含む	3	130,000円
実治療日数 90日以上 180日未満で	入院90日未満又は入院なきものを含む	4	110,000円
	入院90日以上を含む	5	80,000円
実治療日数60日以上90日未満		7	45,000円
実治療日数30日以上60日未満		8	35,000円
実治療日数10日以上30日未満		9	25,000円
実治療日数10日未満		10	15,000円



## 交通安全教室 (7)

—五所川原警察署—

▶積雪とともに、道幅がせまくなります。右側を一列で歩きましょう。

▶道路わきに除雪された雪が高く積まれ、見通しが悪くなります。左右の安全をよく確認して渡りましょう。



▶路面がすべりやすくなっています。一歩一歩ふみしめて歩きましょう。

▶あたりが白くなります。できるだけ目立つ服装をしましょう。

## 冬・フェスティバル(第19回五所川原雪まつり)

- ▷催し物◎2月10日(午後6時～)…前夜祭 のれぞれ爆発フェスティバル—お祭り広場  
◎2月11日(午前9時30分～)ズグリ回し大会・雪上親子綱引き大会・雪上カルタ大会—お祭り広場  
◎2月12日(午前9時30分～)…歌謡・民謡・民謡手踊りコンクール—市民文化会館  
◎2月19日(午前9時30分～)…(協賛)第3回津軽タコあげ五所川原大会—藻川地区  
※期間中、お祭り広場に雪の大型すべり台を設置。

主催 五所川原市観光協会



## 市指定水道工事業者 申請受付

市水道事業所では、平成元年度に市水道事業所が指定する水道工事業者の申請を受付けしますので、手続きをしてください。

- ▷受付期間 2月15日まで  
▷受付場所 市水道事業所(柳町57番地-7)  
▷提出書類

①水道工事業者指定申請書

②添付書類

- (ア)建設業法第3条の規定による許可証明書  
(イ)経営事項審査申請書(写)  
(ウ)工事経歴書及び実績証明書  
(エ)申請書(法人の場合はその代表者)の履歴書及び身分証明書  
(オ)法人は、その定款及び登記簿謄本  
(カ)国税及び地方税を完納したことを証明する書類  
(キ)配管工事に必要な機械器具保有調書  
(ク)責任技術者及び配管技工承認申請書

※資格要件等詳しいことは、市水道事業所(☎④9111番)へお問い合わせください。

## 平成元年度奨学生を募集

### —(財)五所川原市教育振興会—

教育振興会では、次の要領により平成元年度の奨学生を募集します。

希望する人は、在学している学校を経て市教育委員会総務課へお申し込みください。

- ▷申し込み期間 2月1日から2月28日まで  
▷応募資格 次のすべてに該当する人としてします。
- ①平成元年4月に高等学校または大学に入学志望の人
  - ②人物、学業ともに優秀で、かつ健康であるが著しく学資の支弁が困難と認められる人
  - ③市内に在住している人
  - ④過去3か年の全教科の平均成績が3.5点(5段階評価)以上の人

#### ▷貸与金額

- ①高等学校一公、私立とも入学料および授業料相当額(在学期間)
- ②大学一公、私立とも入学支度金として40万円限度

#### ▷返還方法

- ①高等学校一卒業の翌年から、奨学金を受けた期間の倍の期間以内。
- ②大学一卒業の翌月から6か月経過後、就学期間の倍の期間以内。

※なお、詳しくは市教育委員会総務課(☎⑤2111番内線293番)へどうぞ。

## 平成元年度 市・県民税の申告相談

税の正確を期するため、必ず申告して下さるようお願いします。

会場は次のとおりです。これ以外の地区については、2月15日号でお知らせします。

地区	月日	曜	対象区域	時間	相談会場
三好	2・3	金	高瀬・鶴ヶ岡	9:20 ↓ 15:00	コミュニティーセンター三好
	2・6	月	藻川		
	2・7	火	藻川		
中川	2・8	水	川山・種井	9:20 ↓ 15:00	コミュニティーセンター中川
	2・9	木	沖飯詰・桜田・中泊		
飯詰	2・10	金	橋上・下岩崎	9:20 ↓ 15:00	コミュニティーセンター飯詰
	2・13	月	橋下		
七和	2・14	火	原子・俵元	9:20 ↓ 15:00	コミュニティーセンター七和
	2・15	水	羽野木沢・高野		
	2・16	木	前田野目・持子沢		
梅沢	2・17	金	梅田	9:20 ↓ 15:00	梅沢コミュニティーセンター
	2・20	月	中泉		
松島	2・21	火	吹畑・石岡・漆川 (田園町)(十川町)	9:20 ↓ 15:00	コミュニティーセンター松島
	2・22	水	一野坪・太刀打・米田		
	2・23	木	水野尾・唐笠柳・金山		

※申告書は、申告相談会場に備え付けしてあります。

## 病気で「おむつ」使用は 所得控除の対象に!

医師の治療を継続して受けている、ねたきり状態にある患者さんが使用している「おむつ」の費用について、医師の証明書のある場合、昭和63年分の確定申告から医療費控除の対象として認められることになりましたので、証明書の用紙を必要な方は、市役所保険年金課の窓口においてください。

#### ▷対象者

- (1)傷病によりおむね6ヶ月以上にわたり寝たきりの状態にあると認められる人
- (2)当該傷病について医師による治療を継続しておこなう必要があり「おむつ」の使用が必要と認められる人

※詳しいことは、市保険年金課老人医療係(☎⑤2111番内線264番)へどうぞ。



## 新受入図書

市立図書館

書名	著者名	書名	著者名
日本考古学を学ぶ	大塚 初重	絵本をよんでみる	五味 太郎
大国の興亡	ポール・ケネディ	私論大宰治	浅田 高明
戸籍うらがえ史考	佐藤 文明	冷	小笠原茂介
親と再び暮らすとき	高見沢 だか子	恋ごろも	尾崎左永子
学生時代に何を学ぶべきか	講談社	尋ね人の時代	新井 満
アリからのメッセージ	今井 弘民	片翼だけの女房どの	生島 治郎
街路のはなし	鈴木 敏	大きな魚の食べっぶり	今江 祥智
世界のロケット	五代 富文	ベルが鳴る	落合 恵子
大塚末子の新ふだん着	大塚 末子	黒 鏝	北方 謙三
イネの作業便利帳	高島 忠行	斬人 斬馬剣	小島 直記
「株」その常識・非常識	岡田 晃吉	霸王の女	沢田ふじ子
日本釣り紀行	小口 修平	折れた櫛	斎藤 淳
論文執筆ルールブック	中村 健一	家族物語	瀬戸内晴美
通貨烈烈	船橋 洋一	井戸のある街	つかこうへい
蓄財の構造	守 誠	凍れる瞳	西木 正明
揺らぐ社会の人間形成	関口 礼子	大奥の宰相 春日局	藤居 正規
公害原論	宇井 純	掃檻セズ	吉村 昭
原子力の安全を考える	佐藤 一男	わが心のフラッシュマン	中島 梓
日本の肖像	京都国立博物館	季節のことは	馬場あき子

## 工事指名競争入札業者 物品等供給業者 登録受付

市では、平成元年に市が発注する工事の入札に参加を希望する建設業者、市の施設等(市役所、水道事業所、西北中央病院、市内各小中学校、給食センター等)への物品供給を希望する業者を受付けしますので、手続きをしてください。

▷受付期間 2月1日から2月28日まで

▷受付場所 市財政課契約調達係(市庁舎4階)

▷提出書類

### ◎工事指名競争入札業者

①建設省統一様式(一式)

②添付書類

(ア)経営事項審査結果通知書(写)

(イ)建設業者許可証明書(写)

(ウ)納税証明書 市税は63年度分。国税及び県税は62年度分(写)(市内法人業者については、会長及び代表取締役個人名の納税証明書も添付すること。)

(エ)使用印鑑届

(オ)建設業退職共済組合加入証明書(写)

※建設業者の経営に関する事項の審査(建設業法第27条の2の規定による)は、必ず受けるようにしてください。

### ◎物品供給業者

①入札参加資格申請書一式(申請用紙は財政課にあります)

詳しいことは、市財政課契約調達係(☎2111番内線315・330番)へお問い合わせください。

## 県立高等技術専門校学生募集 (能力再開発訓練)

▷募集期間 3月10日まで

▷応募資格 離転職者等の人で、新たな職業に就くことを希望する者。

▷訓練科目

校名	科名	定員	期間	入校時期
青森高等技術専門校	縫製科	20	6ヵ月	4・10月
弘前高等技術専門校	建築科	10	1年	4月
	左官科	10		
木造高等技術専門校	溶接科	20	1年	4月
	建築科	20		

▷選考日 3月14日

※詳しいことや入校願書については五所川原公共職業安定所(☎3171番)または、各高等技術専門校にお問い合わせください。

## スポーツ教室 参加者募集

だれにでもできる「ソフトバレーボール・スキー」教室を開催します。

▷参加対象 一般市民で全日程に参加できる人(スポーツ傷害保険に加入のこと)

▷日程 2月15日(水)、17日(金)、22日(水)

3月1日(水)、4日(土)、8日(水)

11日(土)、15日(水)、18日(土)

※お申し込みや詳しいことは、市教育委員会社会教育課(☎2111番)へどうぞ。

## 津軽大凧を 揚げる大会

—津軽カイトクラブ—

▷日時 2月5日(日)午前9時～

▷場所 津鉄五農校前停留場附近

▷後援 五所川原市他



# 老人福祉センター 温泉利用について

故障中であった老人福祉センターの温泉の修理が終わり、利用できるようになりましたのでお知らせします。

## 毎週火曜日と金曜日

利用できます。

- ▷利用時間 午前9時～午後3時
- ▷対象者 市内に居住する満60歳以上の方
- ※詳しいことは、市老人福祉センター(☎34-94番)へどうぞ。

## 初心者スキー講習会

- ▷日時 2月19日(日) 午前10時～午後3時
- ▷場所 勤労者野外活動施設(狼野長根公園)
- ▷受講資格 小学生以上
- ▷受講料 無料
- ▷申し込み締切 当日の午前9時30分
- ▷その他 スキー用具、昼食は各自持参(食堂有)。貸しスキーもあります(数に限りあり)(靴のサイズは22.5～27.5cm)
- お申し込みや詳しいことは、勤労者野外活動施設(☎3631番)へどうぞ。

**休日・夜間の急病は**  
在宅医師の照会(消防署へ)

**☎34-4999番**  
(救急医療部会)

**火災情報は**  
**☎34-2323番**

**俳句**

白鳩の白の吉兆冬うらら  
手袋に凍て付く鉄道の道きびし  
地が唸る無言のストープ汽車走る  
急ぎ乾し指縮まれる手套列  
校長の勧語手袋目にうかぶ  
手袋の小さくなりて孫育つ  
手袋やときに涙を吸いにけり  
手袋は母の遺品や捨て難く  
手袋に生活をかけて家を出る

津軽鉄道水車吟社

対馬	暉子	三和	千哥	洪谷	房子	内山	湧村	高橋	鉄輪	工藤	曉村	工藤	千峯	三和	篁村	小山	内孤	月
----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	---

## 献血にご協力を!

今、病気や手術のために多くの方が血液を必要としています。「愛の献血」に市民の皆さん、深いご理解とご協力をお願いします。

期 日	時 間	場 所
2月13日 (月)	午前10時から 正午まで	県合同庁舎
	午後1時から 午後4時まで	白生会胃腸病院
2月20日 (月)	午前10時から 午前11時まで	マルカ カサイ駐車場
	正午から 午後2時30分まで	日立東部セミコン ダクタ津軽工場
	午後3時から 午後4時まで	ホテルサンルート 五所川原

## 子宮がん検診

市では、先に子宮がん集団検診を実施しましたが、受診できなかった方のために次のとおり子宮がん検診を実施することになりました。

- ▷対象者 市内に居住する30歳以上の婦人
- ▷実施期間 2月28日まで
- ▷受診方法 市の指定する産婦人科の窓口で申し込みと同時に受診してください
- ▷持参するもの 健康保険証
- ▷受診料 1,000円(ただし、五所川原市国民健康保険加入者は400円。また、70歳以上の方、生活保護世帯、市民税非課税世帯の方は無料—申し込みの際証明書を提出してください。)

### ◎指定医療機関

川村産婦人科医院・吉田産婦人科医院  
斎藤産婦人科医院・森田診療所

### みんなの健康教室

- ▷日 時 2月17日(金) 午後1時
- ▷場 所 市保健センター
- ▷講 師 川崎亮一先生  
(川崎胃腸科内科医院長)
- ▷テーマ 「臓臓の話」
- 主 催 北五医師会・市民保健協議会

2月の保健センター「相談日」  
のうち、24日(金)は都合により中止となります。